

## トナー「with Curtains 2018」の展示ディレクション

日時:2018年10月26日(金)  
 場所:東京のヒューリックホール浅草橋  
 来場者:439名  
 参加企業:アスワン、川島織物セルコン、五洋インテックス、サンゲツ、シンコールインテリア、スミノエ、フジエテキスタイル、  
 リリカラという8社(五十音順) TDA参加メンバー:東郷由利子、大場麻美

今回で12回目の開催となった「with Curtains」は、8社が参加。各社、概ね新作コレクションの開発背景やセールスポイント、コーディネート例の提案などのプレゼンテーションを行なった。TDAは、各社展示でトナー株式会社アイテムとのコーディネート提案。また家具も含めたナチュラルコーディネートボードにて提案。共通展示では、昨年人気の高かったアクセント壁紙とファブリックのコーディネート提案と、各社ショールームにおける日頃の接客から浮かび上がった、エンドユーザーのニーズに関するキーワードから、ノルディックモダン、ブルックリン、ウエストコーストの3テーマ展示提案を行なった。そして、その流れの今後の新しい展開として、トロピカルモダンとニューヨークナチュラルのスタイルの展示提案を行った。

午前の部の最後には、30分ほどの会場構成の企画説明を行った。

文責:大場麻美



## 産地訪問

18

### 株式会社 マルナカ marunaka textile 訪問



埼玉県飯能市にある生地製造業者、株式会社マルナカを訪問しました。この会社は150年の歴史を持っています。普段は会社訪問を受け付けないとおっしゃるほど多忙な中里昌平社長でしたが、お話が始まると止まりません。同社の強みは、ドイツ製のドルニエレピア織機を早くから導入し、独自のプログラムを開発してあらゆる要求に素早く対応できる事。さらに、価格の決定権をもつ事を鉄則としています。徹底したこだわりを持って、大量生産ではなく、少量多品種の要望に対応しています。

1971年の日米繊維交渉による市場開放で、繊維業界は衰退の一途となり、周囲の業者が廃業して行った中、いち早くドイツ製のドルニエレピア織機を導入し、社長自らソフトとハードすべてを管理するプログラムを開発されました。

ドルニエレ社設計の工場を敷地内に建設し、最初8台導入し、現在では40台になってドルニエレピア織機の日本国内最多工場とのことです。

この機械の一番の特長は、レピアによる緯糸の受け渡しにあります。

レピアという金属製の細長い槍状の先端が、左から右へしっかりと糸を受け渡す方法で、素材や太さの違う糸を正確に織り上げていきます。

素材は綿、麻、絹や合繊維など、あらゆるものに対応します。

極細のフィラメントから手で紡いだ極太のものまで、無調整で製織できます。

パリコレに関係しているデザイナーは、20人以上で、様々な要求を出してきますが、それを生地にするために実際に会って一緒にもの作りをします。必要とする素材は、それを得意とする全国の産地との協業ネットワークが自然に出来上がっています。

最近では東京スカイツリーの3種類の制服生地も手掛けており、これは皆川明氏によるデザインです。

同社の資料室を、少しの間ですが見せて頂きました。

様々な素材、色、柄の布が所狭しと掛けてあり、それらを一つひとつ取って見たい衝動にかられました。

ものを作る者にとっては、大変貴重でワクワクする場所でした。

レポート:宮嶋直子

## 産地訪問

19



### オリエンタルカーペット株式会社

#### 「山形緞通」工場見学

SINCE 1935

●日時:2018年6月4日(月)11:30~13:00 ●場所:山形県東村山郡山辺町大字山辺21番地

●訪問者:TDA(今野文雄理事長、桜井 功理事、志智俊介) & 奥山正明(4名)

#### ■山形緞通の工場内見学…渡辺社長の説明にて

日本国内での絨毯製造は17世紀末の元禄年間、佐賀「鍋島緞通」に始まり、天保初期に大阪「堺緞通」。

明治7年に兵庫「赤穂緞通」しかし昭和初期の綿花輸入制限により徐々に製造中止!昭和10年に中国から技術者を招き、山形に「山形 緞通」として創業。

●手織緞通:4名が製織中…織架台に張られたタテ糸を開閉しながら、タテ糸越しに色柄が指定された設計図を読み取り、決められた色糸を 一本一本結んではカットを繰り返す、専用の道具で織り目の密度を一定に整える…1日に織り上げられる長さは7cm程度。

●手差し緞通(ハンドフック):広く高い工場に大きな布(まるで緞帳の様に)が何枚も張られ、図柄に合わせてフックガンという工具で織る技法。重いフックガンをゴム状の紐でぶら下げ、的格に柄を表現するためには打ち込む力やバランスを均一に保つ技術が必要…若い人が多い!



●シャーリング仕上加工(表面仕上げ)…絨毯の表面を均一にするため、表面カットする加工。芝刈り機のような専用機械(自社開発機)にて表面を切りそろえることで柄が鮮明に、鮮やかになります。

#### ■山形緞通:オリエンタルカーペット株式会社の歴史資料室

広い歴史資料室には、17世紀のペルシャ絨毯を復元(京都祇園祭、長浜曳山祭の山鉾を彩る懸装品を蘇らせる)、戦艦「大和」「武蔵」の長官室の絨毯。皇室、迎賓館等々の絨毯納入。

さらに昭和39年にはパチカン宮殿のローマ法王(パウロ6世)の謁見の間の絨毯納入等!



●京都迎賓館の「会議室」「貴賓室」下記写真を始め…迎賓館赤坂離宮(貴賓室)、皇居新宮殿「春秋の間」、京都府公館、東京都庁、等々への納入・施工実績を重ねている。